

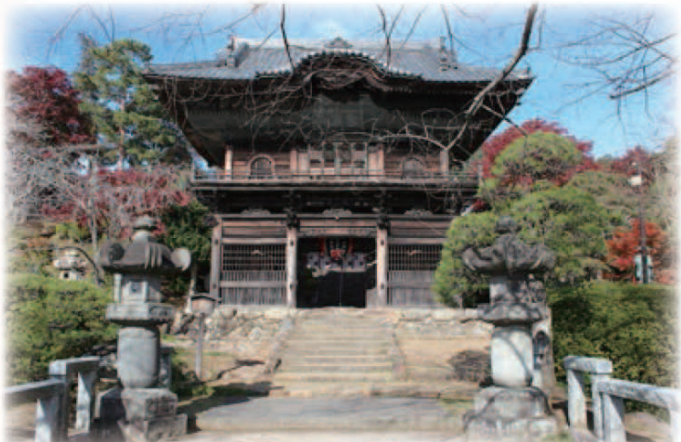
こま 高麗郡古代ロマン (6~8世紀) 歴史MAP

~ふるさとの謎とロマンを訪ねてみませんか?~

高麗郡は、1896年(明治29年)に廃郡されるまで約1200年間の長きにわたって存続しましたが、廃郡時には現在の日高市ばかりでなく、飯能市、鶴ヶ島市と入間市・狭山市・川越市の一部のエリアまで拡大していました。形状的には入間郡を北と南に2分するような形をしていました。



高麗神社
高句麗の王族・高麗王若光(こまのこきしじゃっこう)をまつる神社です。若光は高麗郡の郡司に任命され、武蔵野の開発に尽くしこの地で没しました。若光の遺徳をしのび、霊をまつって高麗明神とあがめ、以来、現在に至るまで若光の直系の子孫が神主を務めています。



聖天院勝楽寺
僧勝楽と若光の三男聖雲、若光の孫弘仁によって創建されました。国指定文化財「銅鐘」、高麗王若光(こまのこきしじゃっこう)の墓など多くの文化財が伝わっています。



こまのこきしじゃっこう 高麗王若光墓(聖天院山門脇)



古代朝鮮半島の高句麗と歴史的関わりが深い日高市では、ハイキングコース等で「チャンスン」をよく見かけます。高句麗では、「チャンスン」は村の魔除けとして建てられていました。観光客や市民の方々が無事に過ごせるように、いつでも見守ってくれているんですね。



高麗郡の歴史的ロマンと謎

①ひとつの郡内に古代寺院が3寺(女影廃寺、高岡廃寺、大寺廃寺)も建立された例は武蔵国では他にありません。
②郡が設置された際に、郡の長である郡司が政務などを行う郡衙(ぐんが)と呼ばれる役所を置きます。「武蔵高萩駅」周辺の遺跡からは、当時の役人が身につけていた装飾品や文字が書かれた墨書土器などが出土しています。まだ高麗郡の郡衙は発見されていませんが、これらの出土品は郡衙の手がかりになる貴重な資料です。



——高麗郡の痕跡——